

# 計画の推進に向けて

## 構成

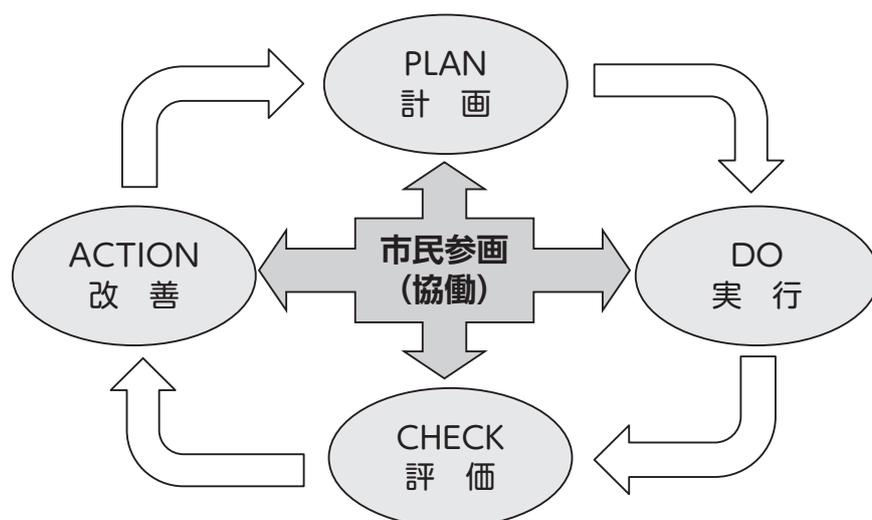
- 1 事務事業プライオリティ・行政評価による進行管理
- 2 市民意識調査(市民アンケート)の実施
- 3 予算への反映



## 計画の推進に向けて

### 1 事務事業プライオリティ(※)・行政評価による進行管理

計画策定後の進行管理は、新たな変化にも対応できるように、毎年度「計画・実行・評価・改善」というPDCA マネジメント(※)サイクルを実践する中で、事務事業プライオリティ(※)・行政評価システムにより、施策や事業の必要性確認と、成果、目的達成度を公表、検証するとともに、有効性・効率性などの観点から評価を行い進めていきます。



### 2 市民意識調査(市民アンケート)の実施

時代に即した市民ニーズと日常生活における市民の満足度を把握するため、市民意識調査を実施します。基本構想に示した「10年後の大崎市」や基本計画に示した施策ごとの「望ましい姿」をベースに調査項目を設定し、本市の取り組みに対するニーズの変化や重要度、満足度などを把握し、進行管理に活用します。

### 3 予算への反映

事務事業プライオリティ(※)・行政評価や市民意識調査の結果を参考に、事業の実施時期や規模について検討し、予算に反映させるとともに、市民にわかりやすい財政事情の公表を積極的に行います。

予算編成に関しては、財政計画との整合性を踏まえ、経常収支比率80%台の保持と実質公債費比率18%以下の堅持、あわせて地方債、財政調整基金の取り崩しに依存しない収支均衡型予算による財政運営を目標としながら、「選択と集中」を視点に編成します。

※プライオリティ (priority) …優先順位のこと。

※PDCA マネジメント…Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) の4段階の区分で事業を行い、コストや成果などを検証し、より効果的・効率的に目的を達成できるように事業(仕事)を改善していくために用いられる手法のこと。